

～ 福岡日伊協会映画鑑賞会のご案内 ～

第163回上映作品

ベルナルド・ベルトルッチ監督作品

『 暗殺のオペラ 』

Strategia del vagno

「殺し」「革命前夜」「暗殺の森」「ルナ」などのベルナルド・ベルトルッチ監督の作品です。有名な詩人を父に持つベルトルッチは6歳の頃から父を真似て詩を書き始めていた。が、映画を撮り始めてから詩作をやめた。ベルトルッチの映画体験はピエル・パオロ・パゾリーニ監督の処女作「アッカトーネ」の助監督からだった。そして、パゾリーニの原案による「殺し」の監督を依頼される。ベルトルッチの言葉によれば「観客のことを全く念頭に置かずに撮った」という作品が、「暗殺のオペラ」の前「パートナー」までだったそうだ。

この「暗殺のオペラ」から彼は、観客に向かって語り始める。テレビ用の作品だったこともあり、自然かつ抵抗なく大勢の観客が彼を知ることになった。ヴィットリオ・ストラローロが撮影監督となり、音楽もヴェルディのオペラへの愛着も見られ、官能的で流麗なカメラ・ワークがベルトルッチスタイルにもなった。原題は「蜘蛛の戦略」。

真夏のある日、北イタリア・エミーリア地方の小さな町、タラに1人の若い男アスト・マニャーニがやって来た。20数年前、彼の父(同じ名前)は、ファシストに暗殺され、町の英雄になっていたが、不可解な死に方だった。息子はそれを究明する為にやって来たのだ。お楽しみに。

(解説：湯越勘一氏)

※ 20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意ください。

※ 館内での飲食は厳禁ですのでご注意ください。

データ

監督	／	ベルナルド・ベルトルッチ	出演	／	ジュリオ・ブロージ (父、息子)
助監督	／	ジュゼッペ・ベルトルッチ			アリダ・ヴァッリ (ドライファ)
原作	／	ホルヘ・ルイス・ボルヘス			ピッポ・カンパニーニ (ガイバツィ)
		(伝奇集より「裏切り者と英雄のテーマ」)	音楽	／	ヴェルディ「リゴレット」
脚本	／	マリル・パロリーニ			シェーンベルグ「室内交響曲第2番」
		エドゥアルド・デ・グレゴリオ	製作	／	ジョヴァンニ・ベルトルッチ
		B・ベルトルッチ			

1970年 91分

記

日時：2015年2月27日(金) 19:00～21:00

会場：あじびホール (福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

(福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル)

入場料：無料 先着120名 (直接会場へお越しください)

問合せ：福岡日伊協会 担当 井口

TEL 092-476-2153 (西日本シティ銀行内)

★ 今後の上映予定 ★

2015年4月3日(金) 19:00 あじびホール

追悼アニタ・エクバーグ出演作品「インテレビスタ」